



府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2097号 2020年1月1日

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/https://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／小松 康則 編集人／樋口 浩之
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

患者さんに寄り添い、 がん治療を支えたい



利益・経営重視の病院に対し 立ち上がる仲間たち

大阪国際がんセンター リハビリテーション科

**国内トップクラスの
先進的がん治療に取り組み病院**

2017年3月25日、大阪府立成人病センターが名称を改め、大手前に新築移転し誕生した大阪国際がんセンター。大阪城をも見下ろす地下2階、地上13階の建物は500床の病床を抱え、がんの特化した国内有数の病院としての役割を担っています。

大阪国際がんセンターの前身である大阪府立成人病センターは、国内初の生活習慣病専門の医療機関として、1959年に開院し、その後、がん循環器(心臓と血管)疾患に特化した病院へと進化を遂げてきました。



日中はたくさんの患者さんでいっぱい

2006

2006

がんと向き合う患者さんに 寄り添う医療をめざして

現在、医療の進化によって、がん全般の5年生存率は約70%にまで向上しています。かつてのがん治療は命を取り留めることが第一でしたが、患者さんのニーズは多様化し、がんに向き合いながら生きていく人が増えている近年では「クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を大切にしたい」という考えも広がっています。国が策定した「がん対策推進基本計画」にも盛り込まれている就労問題も深刻で、育児真っ盛りの30代、40代の女性にがんの発症が多くなり、患者さんに寄り添った治療がますます求められています。

患者さんのニーズに合わせて あらゆるサポートを

リハビリテーション科では、16人のセラピストたちが患者さんとがん治療を支えています。

がんのリハビリテーション、生活機能と質の改善を目的とする医療ケア、がんそのものやその治療により生じる障害を受けるなかで、最大限の身体的、社会的、心理的、職業的活動を

リハビリの状況を記録するのも大切な仕事です



治療、診断、研究など、すべての要素を国際レベルに向上させるため、アジアのがん対策も重視し、タイやバンコクやシエラレオネなどの医療機関との提携も始めています。



患者さんの気持ちに寄り添いつつ

遊歩道

みなさんは
どのようなお正月を過ごされましたか。
家族とゆっくり過ごしたり、バカンス

を楽しんだ方、いろいろな思いを胸に新年を迎えたことと思います。また一年の計は元日にありということわざもあり、この一年の計画、目標をたてられ、新たな目標に向かってがんばろうと思っ